

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

創立の精神

高級特殊鋼を製造し、産業界に貢献する。迫り来る革新的モビリティ・エネルギー・デジタル社会で変化を御し、高機能材を提供し続ける。

連結売上高
260億円

連結営業利益
23億円

ROS
9%

ROE
6%

② 中長期の経営戦略

1. 商品ポートフォリオ改革

電磁ステンレス鋼と特殊合金を半導体製造装置・新エネルギー向けで拡販。トマタブルやIoT電源など磁歪クラッド材商品を2025年度以降量産化へ。

3. 未来工場基盤整備

基幹システム更新とDX推進により、生産効率化と高付加価値化を実現。デジタル領域とアナログ領域の融合を目指す。

2. 環境価値商品拡大

NEDO グリーンイノベーション基金による次世代モーター用素材開発と磁歪クラッド材用途開発を推進。売上高の2.5%を研究開発費に配分。

4. 本業収益力強化

原価低減活動と値上げ活動で製造コスト圧縮。内燃自動車向けは生産体制見直しで収益性維持。高付加価値商品中心の拡販強化。

③ 対処すべき課題

① 事業環境の急速な変化対応

- 自動車電動化によるエンジン用商品需要縮小への対応
- 半導体製造装置産業の需要変動で理想的操業水準が予測困難
- 原材料・人件費上昇で原価吸収が困難化

② 特殊鋼事業の構造改革

- 売上高約7割の自動車産業向けからの脱却
- 磁歪クラッド材など潜在需要のある技術の事業化

③ 不動産事業の持続性確保

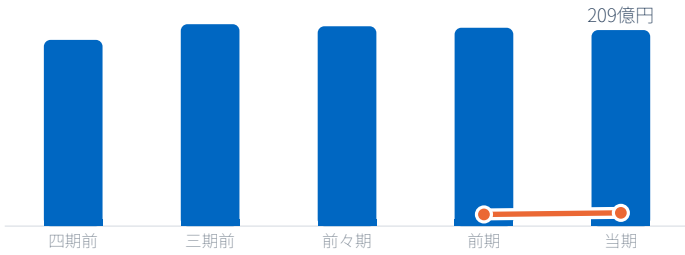
- EC普及と人口減少による実店舗販売減への対応
- 施設老朽化対応と地域活性化の両立

面接で使えるポイント

- 2026年度260億円売上達成に向け、電磁ステンレス鋼など強み商品を半導体製造装置向けで拡販する戦略展開
- NEDO グリーンイノベーション基金に採択された次世代モーター用素材開発で電動化社会に貢献
- 2025年度からトマタブルとIoT電源の量産化により、磁歪クラッド材を活用した新事業を創出

証券コード 5484

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
特殊鋼の製造・販売を主事業とする鉄鋼メーカー

主力事業・セグメント

- ・ Special鉄鋼 88.5%
- ・ 不動産 11.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
209億円営業利益率
6.8%財務健康度
64点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 46.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
577万円

鉄鋼内 35位/38社

平均年齢
41.1歳

鉄鋼内 24位/38社

平均勤続
15.9年

鉄鋼内 31位/38社

女性管理職
3.6%

鉄鋼内 14位/32社

男性育休
133.3%

鉄鋼内 3位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 東北特殊鋼[5484]：2026年3月期連結業績予想の修正に

